

リハビリテーション室

明るく開放的なリハビリテーション室で訓練を行います。

基本的なリハビリテーション機器から、BWS (Body weight support) を用いた歩行訓練機器まで幅広く設置されています。



心臓リハビリテーション



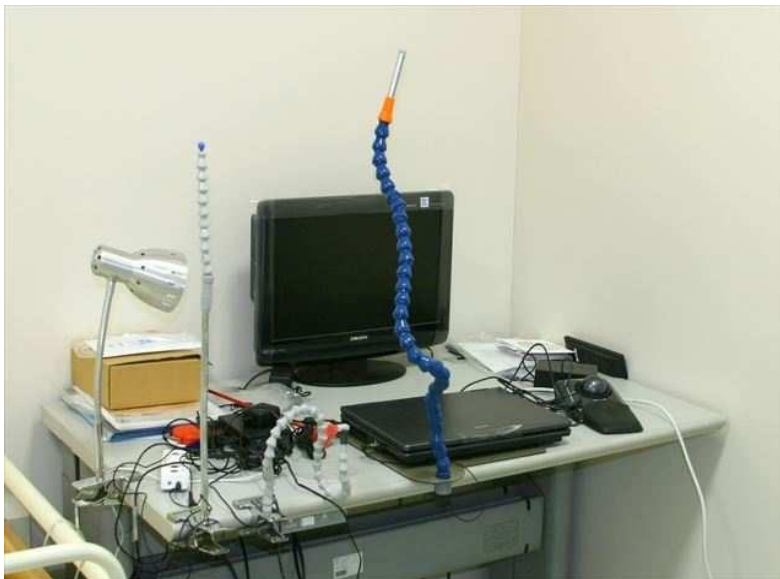
末梢血管障害、心大血管術後、虚血性心疾患、心不全などの再発予防のための心臓リハを実施しています。

エルゴメーターやトレッドミルなど各種運動機器を設置しています。

また心電図モニターや自動体外除細動器など緊急時に対応できるようにもしています。

作業療法室

作業療法室は様々な作業活動を通して、身の回りのことが困難となっている動作や活動の治療や指導、援助を行う場所です。



ADL室



生活訓練を行うADL室には、洗面台・洗濯機・浴槽・トイレ・台所・物干し台・和室などの設備があります。

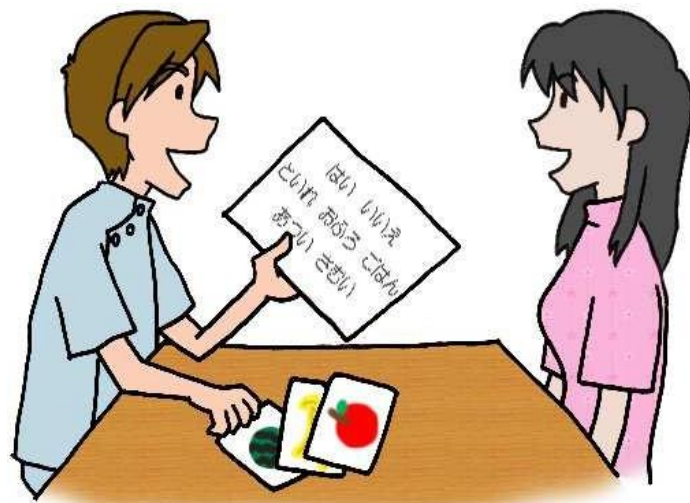
家事動作訓練など退院後の生活を想定した訓練を行っています。



言語聴覚療法室・心理室

集中して訓練・検査を行うことができるよう個室になっています。

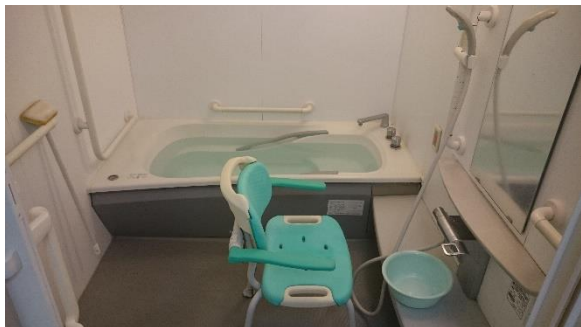
訓練教材や検査用具が揃っており、患者さんの症状に合わせた検査・訓練を行っています。



リハビリテーション科病棟の紹介

12階東病棟 (障がい者施設等一般病棟)

明日へのあなたの可能性を
サポートします！



12階西病棟 (回復期病棟)

あなたと家族の**明日**の笑顔を
チームで応援します！



急性期病棟

当センターは3次救急を有し、急性期治療を主たる業務とする病院です。

リハビリ科では急性期から積極的なリハビリに取り組んでいます。



回復期病棟

回復期病棟では脳血管疾患、重症骨折、脊髄損傷、頭部外傷などに対して当センターの急性期病棟と連携をはかり継続的で集中的なリハビリテーションを行なっています。

365日リハビリを通して日常生活動作の獲得を目指します。

回復期病棟では医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ケースワーカー等が共同して集中的かつ効果的なリハビリテーションを提供します。



障がい者病棟

障がい者施設等一般病棟は主に重度の肢体不自由児、頸髄損傷による重度障害、重度の意識障害、高次脳機能障害、神経難病の方を対象とした病棟です。

それぞれの医療従事者がチームで個々の症状に合わせ、予防・回復・症状緩和が出来るように支援を行います。

